

証券コード：4406（東証スタンダード）

2023年3月期 第2四半期

# 決算説明会資料



2022年11月25日

代表取締役 社長執行役員  
三浦 芳樹



# 本日の内容



## ■ 会社概要

## □ 2023年3月期第2四半期 決算概要

## □ 2023年3月期 業績予想

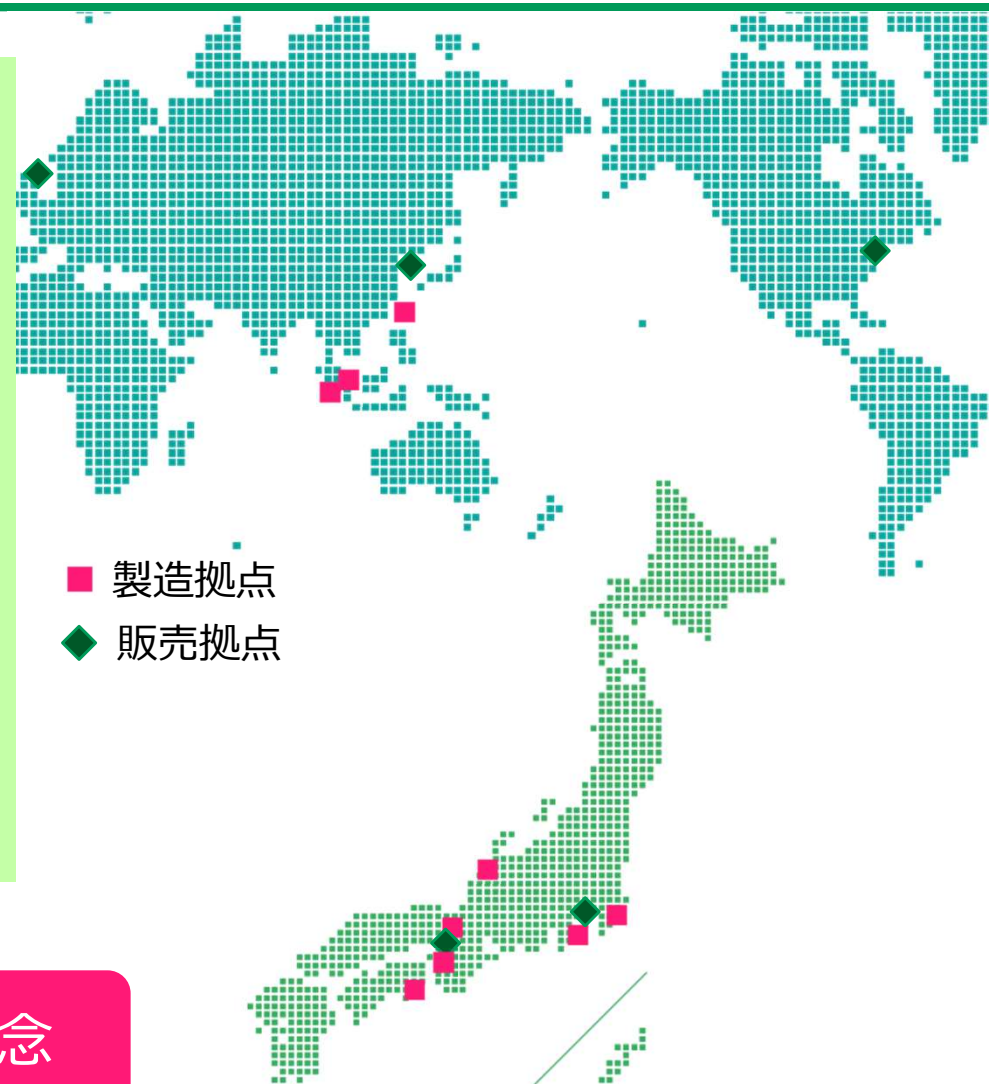
## □ 中期経営計画（2021～2025）について

## □ サステナビリティへの取組み



## 新日本理化株式会社

- 創業：1919年（大正8年）11月10日
- 資本金：5,660百万円
- 従業員数：435名（連結）[2022年9月末]
- 事業内容：化学製品の製造・販売
- 営業所：大阪（本社）、東京
- 工場：京都、徳島、川崎、堺
- 研究所：京都
- 関係会社：国内4社、海外6社



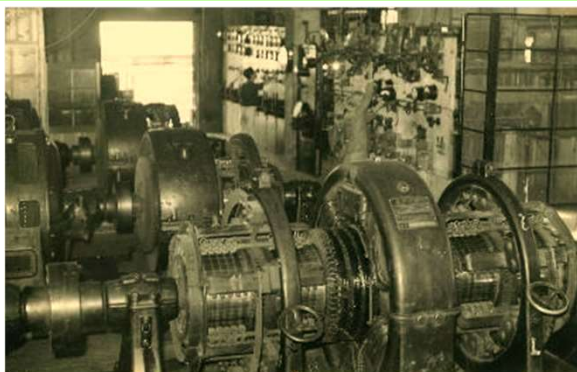
### 経営理念

私たち新日本理化グループは、もの創りを通して広く社会の発展に貢献します。

# 新日本理化のあゆみ

1920年

水の電気分解により製造した酸素ガスの販売を開始

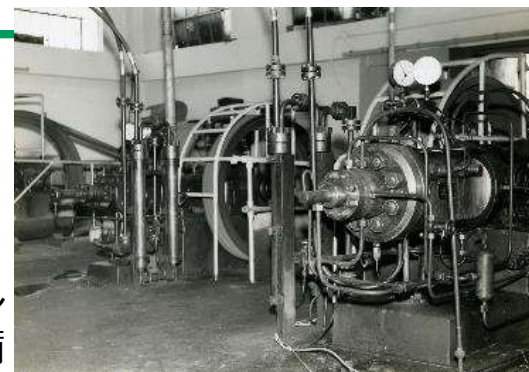


創業時の直流発電機

1951年

高級アルコール製造設備

ヤシ油を水素化して高級アルコールを製造、可塑剤事業スタート



1961年

水素化技術を活用して無水コハク酸を製造（日本初）

1922年

魚油に水素を添加して硬化油を製造、今日につづく水素化技術の始まり



硬化油工場

# 新日本理化のあゆみ

1982年

ポリオレフィンの透明性を改良する結晶核剤を開発、機能性化学品事業に進出



ポリオレフィン製容器

2001年

HDDのモーター向けの潤滑油を開発



内蔵HDD

2022年

結晶化速度を大幅に改善した結晶核剤「RIKACRYSTA®」を発売



RIKACRYSTA

2019年  
創業100周年

1993年

植物系（ヤシ油・パーム油）の不飽和アルコールを開発



パーム油

2021年

バイオマス可塑剤「グリーンサイザー®」を開発、バイオマスマークを取得



バイオマス  
No.210315

バイオマスマーク

 **新日本理化株式会社**  
Be the best **SPICE!**

# 当社の事業内容

## 原料

天然油脂  
(ヤシ油、パーム油)

石油由来原料  
(ナフサから  
得られる基礎化学品)

## 製品分野 (主な製品)

オレオケミカル

アルコール  
界面活性剤

可塑剤

耐熱性可塑剤  
耐放射線可塑剤

合成樹脂原料

ポリエステル原料  
エポキシ樹脂硬化剤

機能性化学品

結晶核剤 潤滑油  
ポリイミド

## 主な使用分野

トイレタリー



化粧品



自動車



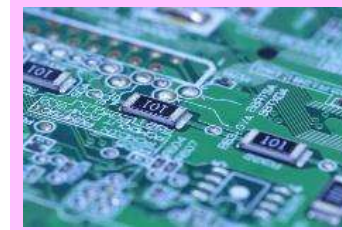
住宅設備



医療器具

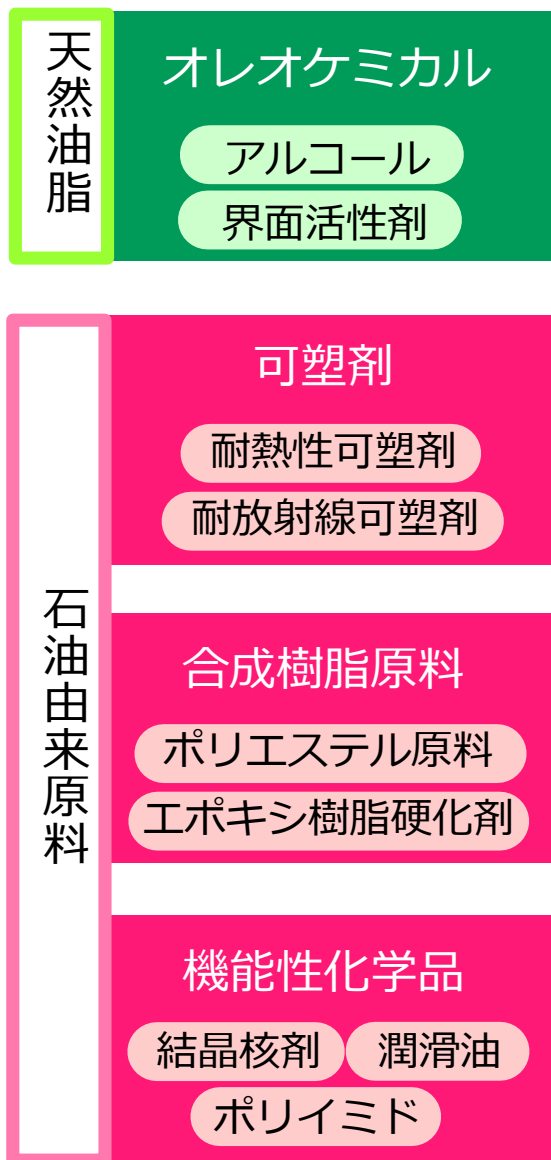


電子製品

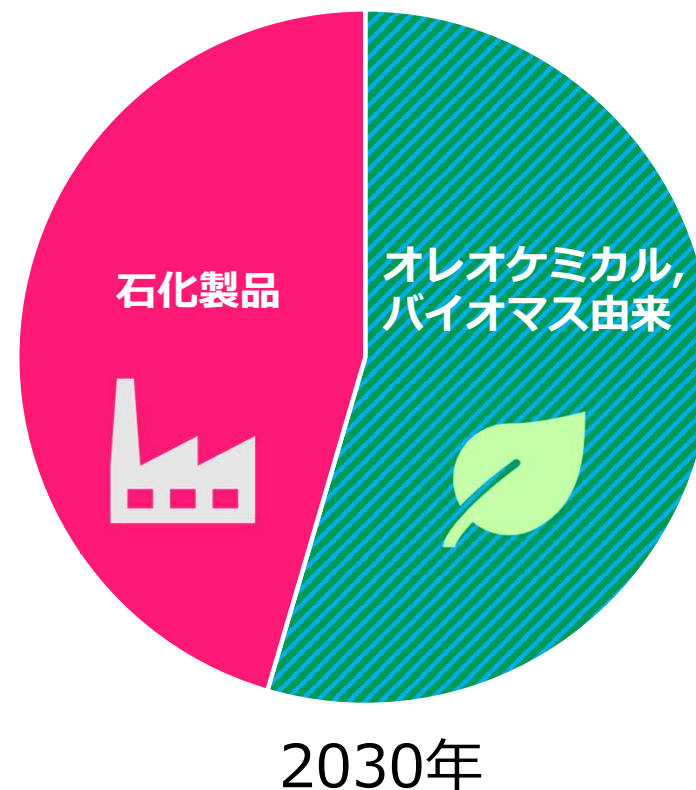
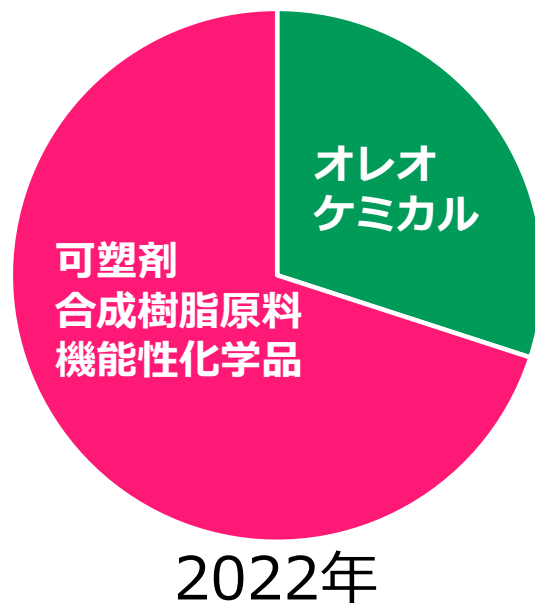


# 事業の構成割合

## 製品分野（主な製品）



## 製品の売上高構成



- バイオマス原料を用いた製品開発を加速。
- 2030年には、オレオケミカルとバイオマス由来製品で売上高の過半を占めるような事業構成を目指す。

# 本日の内容



## □ 会社概要

## ■ 2023年3月期第2四半期 決算概要

## □ 2023年3月期 業績予想

## □ 中期経営計画（2021～2025）について

## □ サステナビリティへの取組み





# 2023年3月期 第2四半期 決算概要（連結）

- 売上高 : エネルギーや原料の調達コストの上昇を受けた価格改定により増加。
- 営業利益 : 需給バランスの悪化による販売数量減により収益性低下。

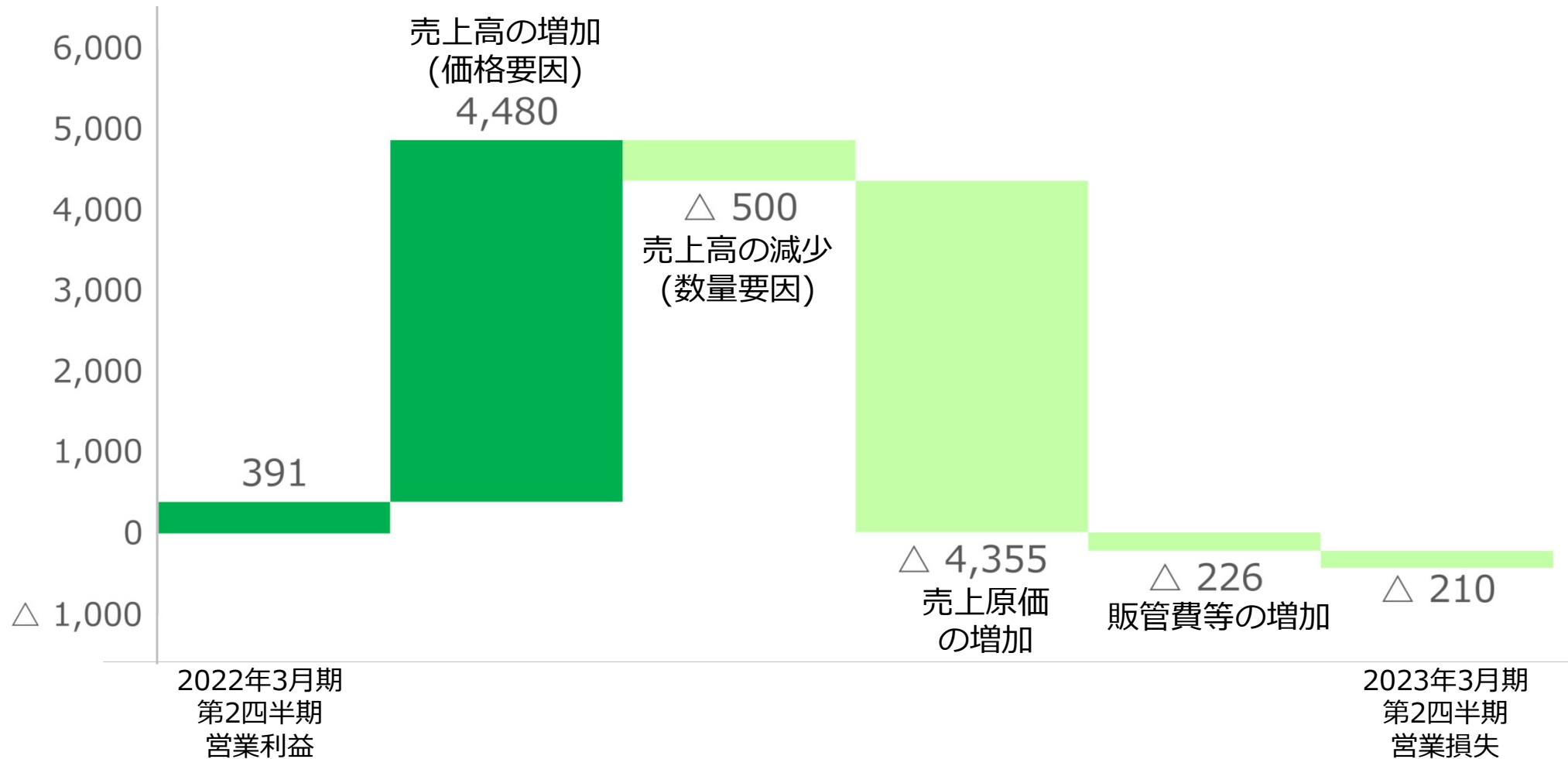
単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前期比較	
			増減	比率
売上高	15,212	16,861	1,648	+ 11%
営業利益 (△は損失)	391	△ 210	△ 602	-
経常利益	505	61	△ 443	△ 88%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△は損失)	299	△ 47	△ 346	-
1株当たり 四半期純利益 (△は損失)	8.02円	△ 1.27円	△ 9.29円	-

# 営業利益の増減要因（対前期）

- 原料価格の高騰を受けた製品価格の適正化を進めたものの、需給バランス悪化による販売数量の落ち込みが営業損益に影響。

(単位：百万円)



# 営業外損益・特別損益

- 持分法による投資利益の計上により、営業外損益は+ 2億7千1百万円。
- 投資有価証券評価損の計上により、特別損益は△ 2千4百万円。

(単位：百万円)

営業損失	△ 210	営業外損益			
		2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	
営業外損益	271	受取利息・配当金	79	93	+13
経常利益	61	支払利息	△ 19	△ 24	△ 5
		持分法投資利益	100	209	+108
		その他	△ 47	△ 6	+41
		合計	113	271	+158

(単位：百万円)

特別損益	△ 24	特別損益			
		2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減額	
法人税等	△ 71	投資有価証券評価損	△ 29	△ 24	+5
非支配株主に帰属する 四半期純利益	13	減損損失	△ 2	-	+2
		固定資産除却損	△ 6	-	+6
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 47	合計	△ 37	△ 24	+13

# 連結貸借対照表

- サプライチェーンの混乱を受けた仕入先変更や、原料価格高騰による支出増加に備え借入を増加させたため、流動負債が増加。

単位：百万円

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第2四半期	増減額
総資産	40,086	40,492	+ 406
流動資産	21,329	21,388	+ 59
固定資産	18,757	19,103	+ 346
負債	23,086	23,417	+ 330
流動負債	13,549	14,035	+ 486
固定負債	9,536	9,381	△ 155
純資産	16,999	17,074	+ 75
負債純資産合計	40,086	40,492	+ 406
自己資本比率	39.8%	39.6%	-

# キャッシュ・フロー

- サプライチェーンの混乱を受け、仕入先変更や在庫の積上げを実施したことにより、営業活動によるキャッシュ・フローが悪化。

単位：百万円

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期
営業活動によるCF	201	△ 1,547
投資活動によるCF	△ 1,330	△ 90
財務活動によるCF	2,463	1,046
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	1,334	△ 591
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,322	2,737

# 本日の内容



□ 会社概要

□ 2023年3月期第2四半期 決算概要

■ 2023年3月期 業績予想

□ 中期経営計画（2021～2025）について

□ サステナビリティへの取組み



# 2023年3月期 業績予想（連結）

- 物価高騰や円安などの経済情勢の不安定さを踏まえ、通期業績予想を修正。
- 期末配当金予想は変更なし。

単位：百万円

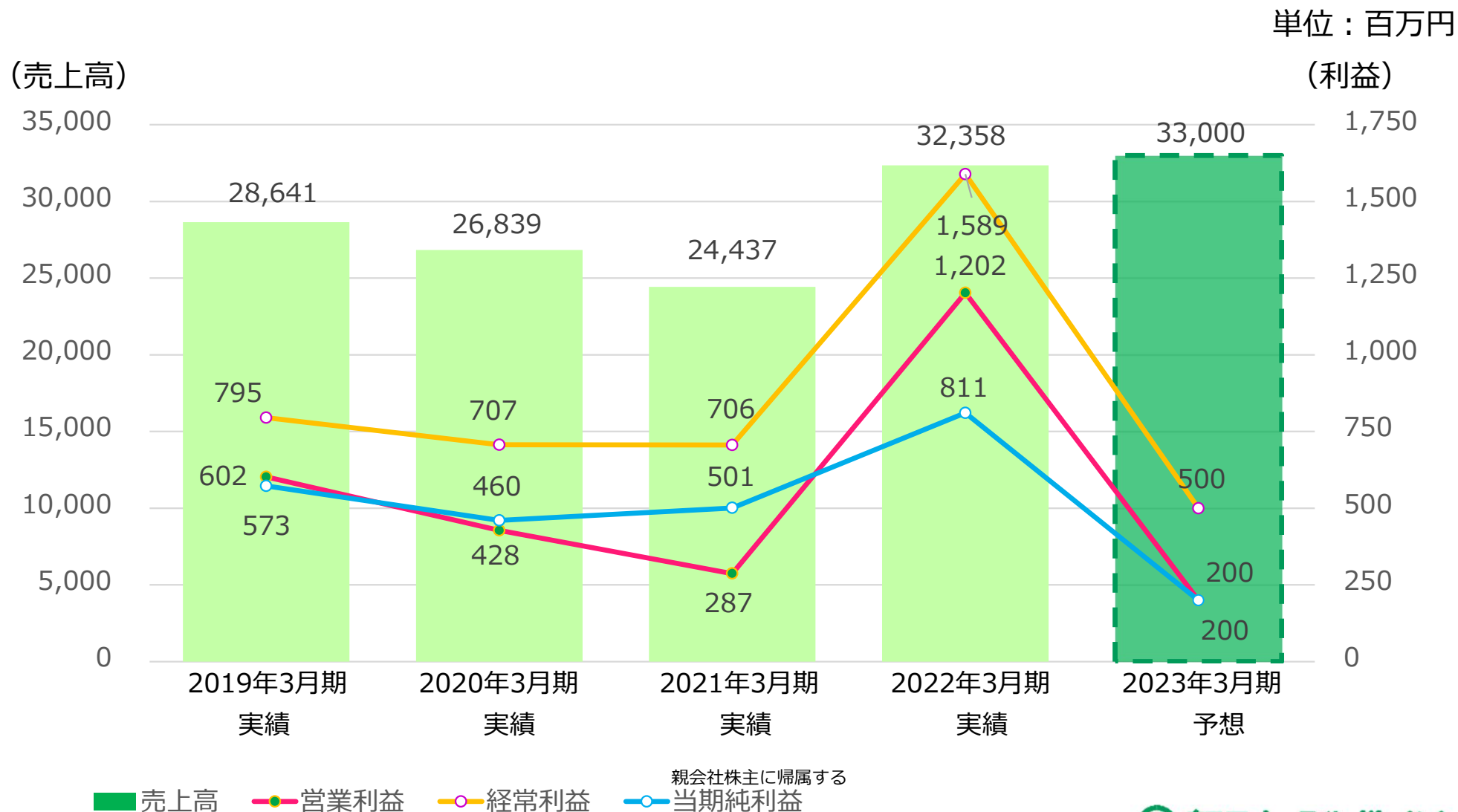
連結		2023年3月期 上期実績	2023年3月期 下期計画	2023年3月期 修正予想 (11/10公表)	2023年3月期 期初予想	修正額
	売上高	16,861	16,139	33,000	33,000	-
	営業利益	△ 210	410	200	800	△ 600
	経常利益	61	439	500	1,000	△ 500
	親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 47	247	200	800	△ 600
期末配当金(円)	-	-	5.0円	5.0円	-	

## 今後の見通し

- ｜ 原料事情の改善による可塑剤の販売回復
- ｜ 海外マーケットの回復による樹脂原料・結晶核剤の輸出増
- ｜ 製品価格の改定・コスト削減による収益改善

# 2023年3月期 業績予想（連結）

- 収益改善策を着実に実施することにより、2023年3月期の連結業績は最終利益2億円を目指す。





# 本日の内容



- 会社概要
- 2023年3月期第2四半期 決算概要
- 2023年3月期 業績予想
- 中期経営計画（2021～2025）について
- サステナビリティへの取組み



## VISION 2030 ～2030年のありたい姿～



# Be the best SPICE!

～心躍る極上のスパイスになる～

キラリと光る唯一無二の個性をもった素材のスパイスで、  
世界をより、健やかで豊かなものに、  
毎日をもっと、心ときめくものに。

## 中期経営計画（2021～2025）

- VISION 2030の達成に向けた直近5カ年（2021年度～2025年度）の具体的な戦略。
- 2025年度に **売上高：360億円、営業利益：22億円、ROE：8.0%**（連結）を達成し、2026年度以降の飛躍につなげる。

# 中期経営計画（2021～2025）について

## 基本コンセプト

- 環境・社会・人（命）に関わる課題に果敢にチャレンジし、価値創造企業を目指す。
- 「情報・通信」「モビリティ」「ライフサイエンス」「環境ソリューション」の4領域に経営資源を集中し、成長戦略を実現する。

## 財務目標（2025年度連結）

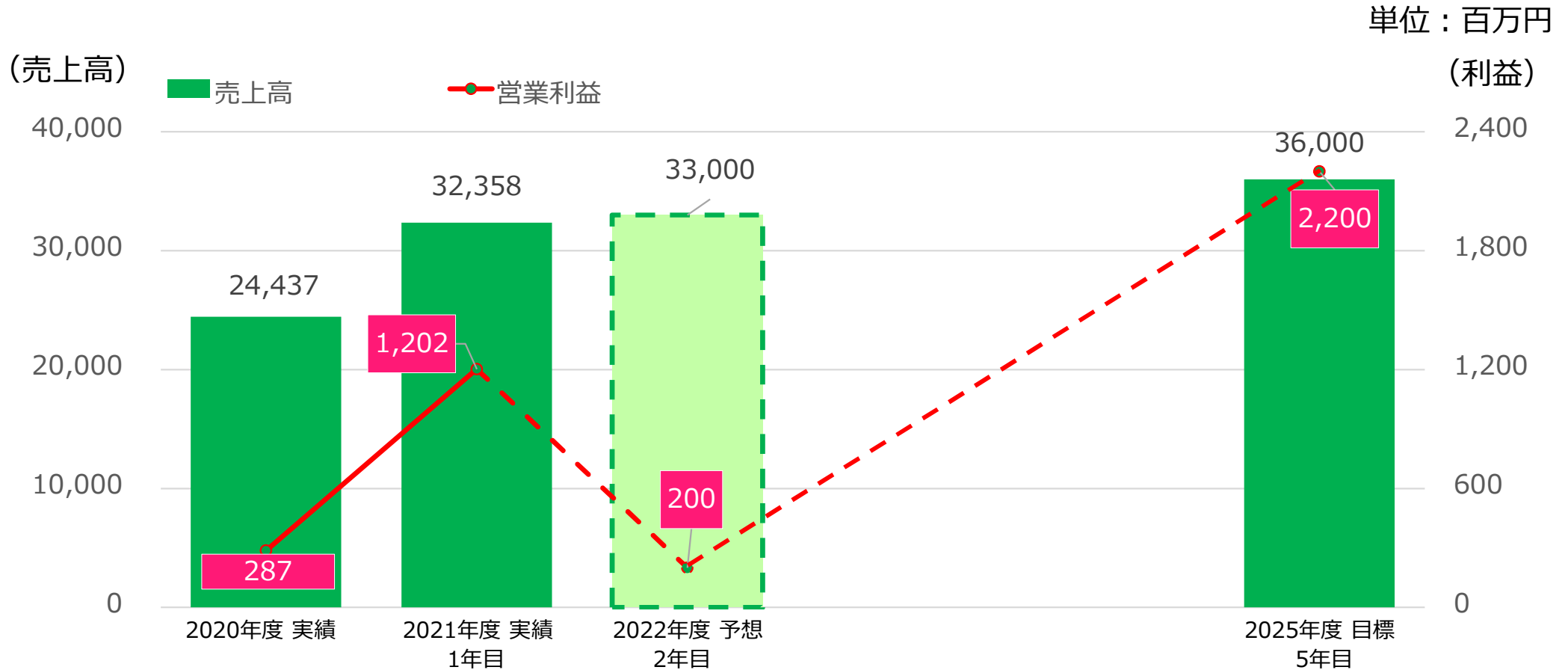
売上高：360億円    営業利益：22億円    ROE：8.0%

## 事業戦略の柱

- 稼ぐ力の再構築
- CSRの推進
- 技術革新による競争優位の獲得
- 組織再編と人材育成の強化

# 中期経営計画（2021～2025）について

- 原料価格高騰を受け製品価格の改定を実施したため、売上高は増加。
- 計画を着実に遂行し、事業ポートフォリオの転換を進める。



連結		2020年度 ＜計画前実績＞	2021年度 ＜1年目実績＞	2025年度 ＜目標＞
	ROE		3.5%	5.2%

# 中期経営計画（2021～2025）の取組み

## 情報・通信

### 高耐熱ポリイミドワニス「リカコートTON-20」

- 5G関連製品の生産工程用部材など、高温下での使用にも対応できる、高耐熱の溶剤溶解型ポリイミドワニスを開発。
- 耐熱・絶縁が要求される部材のフィルムや電線のコーティング材料への展開を目指す。



## モビリティ

### 100%バイオマス由来エステル油

- 自動車や機械の潤滑油、グリース向けに100%バイオマス由来のエステル油を開発。
- 従来の植物由来オイルの課題を克服、優れた低温流動性が強み。



## 環境ソリューション

### バイオマス可塑剤

#### 「グリーンサイザーBZシリーズ」

- 一般的な可塑剤と同等以上の性能を持つバイオマス可塑剤を開発。
- 住宅・ビルの建材に広く使用される塩ビなどの樹脂のバイオマス度を向上させる。

### ポリオレフィン向け結晶核剤

#### 「RiKACRYSTA」

- 樹脂の結晶化速度を向上させ、成形時の省エネに寄与。剛性などの物性向上も可能。
- リサイクルプラスチックの物性改善にも機能、プラスチックの資源循環につながる。



# 本日の内容










- 会社概要
- 2023年3月期第2四半期 決算概要
- 2023年3月期 業績予想
- 中期経営計画（2021～2025）について
- サステナビリティへの取組み



# サステナビリティへの取り組み

- 経営理念のもと、持続可能な社会の実現と当社グループの成長を両輪で追求する。

サステナビリティ重要課題		
E	 	カーボンニュートラルの実現
		資源（水・燃料）の有効利用
		人・環境にやさしい製品の拡充
S	 	人権の尊重
		多様な人材の育成と確保
		安全で働きやすい職場づくり
		サプライチェーンマネジメント
		地域活性化への貢献
G	 	ステークホルダーエンゲージメントの実践
		リスクマネジメントの徹底
		迅速果断な意思決定を支えるガバナンスの構築

## 経営理念

もの創りを通して  
広く社会の発展に  
貢献します。

## VISION 2030



Be the best **SPICE!**

# サステナビリティへの取り組み ①気候変動への対応

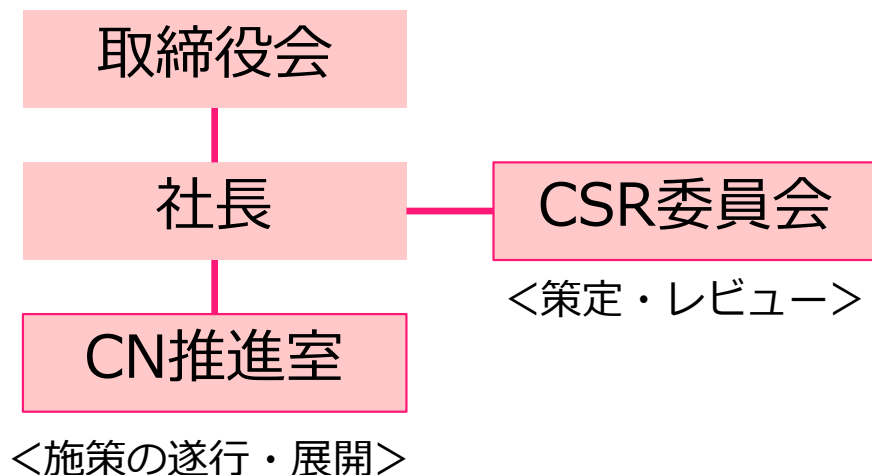
- 脱炭素社会の実現を目指す動きが世界で加速する中、当社グループにおいてもカーボンニュートラル達成に向けた目標を策定するとともに、推進体制を整備。

## カーボンニュートラル達成に向けた目標

2030年度まで：国内事業所からのCO<sub>2</sub>排出量50%削減（2013年度比）

2050年度まで：国内事業所でのカーボンニュートラル（CN）達成

## ■ CN推進体制



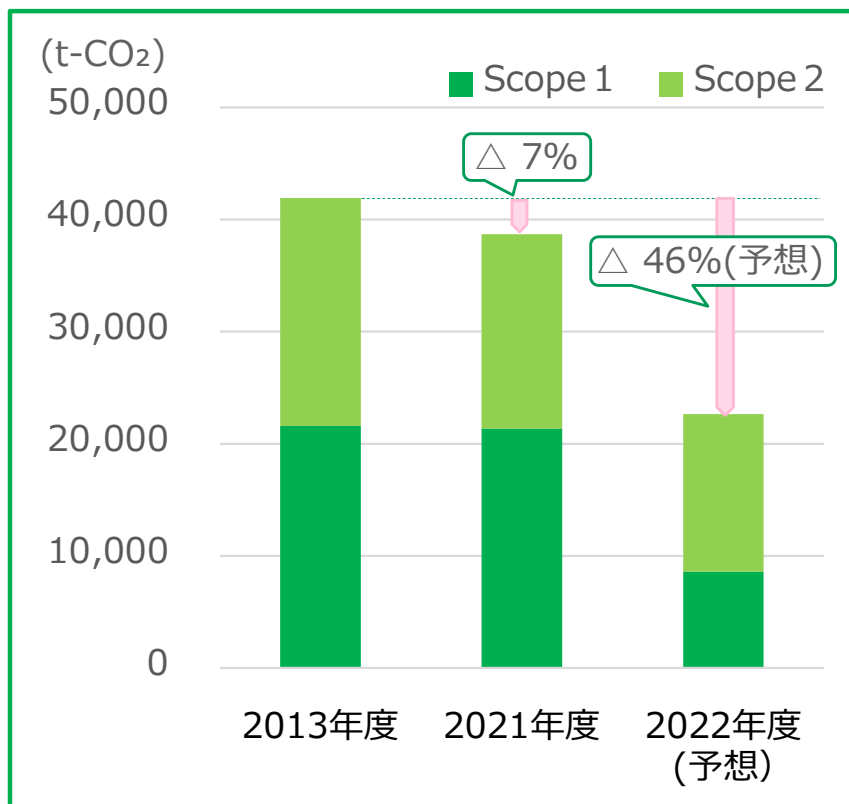
CSR委員会	ESG（CNを含む）に関する方針・戦略を策定し、実施状況をレビューする。
CN推進室	CNに関する各種施策を立案し、事業部門へ展開する。 （2022年4月 設置）



# サステナビリティへの取組み ①気候変動への対応

- 「2050年度にカーボンニュートラル達成」の目標に向け、各種施策を実施。

対象範囲	項目	基準年度	目標年度	目標値	2021年度実績	2022年度予想
国内	Scope 1 Scope 2	2013年度	2030年度	50%削減	38,697 (t-CO <sub>2</sub> )	22,637 (t-CO <sub>2</sub> )
			2050年度	実質排出量 0		



## 取組み

- 省エネルギー活動の徹底
- 電力およびガスの再生可能エネルギーへの切替え
- 製品製造プロセスの抜本的改革

## TOPIC

### 京都工場をカーボンニュートラル工場へ

2022年4月より、京都工場（京都市伏見区）で使用する電力・ガスをすべて再生可能エネルギーへ。



## サステナビリティへの取り組み ②人的資本・多様性

- VISION 2030「Be the best SPICE!」に向けて、多様な価値観と能力を活かす組織の実現と個の精鋭化を目指す。

### ダイバーシティ & インクルージョン

- キャリア採用：異業種でのキャリアを有する人材を積極採用。  
※キャリア人材採用人数（2021年度）：7名
- 女性活躍推進：女性管理職比率7%以上（2025年度まで）を目標に、キャリア意識の醸成と候補者育成に注力。  
※女性管理職比率（2022年4月1日時点）：4.8%
- 育児との両立支援：円滑な育休取得・復帰のため、上司との対話を強化。短時間勤務や育児フレックスタイム制の拡充など、ワークライフバランスを推進。



### タレントマネジメント

- 社員の適性や能力、経験などを一元管理し、人材戦略に活用していく。

# サステナビリティへの取り組み ②人的資本・多様性

- VISION 2030「Be the best SPICE!」に向けて、多様な価値観と能力を活かす組織の実現と個の精鋭化を目指す。

## 人材の育成

- 選抜型研修で経営層候補者を育成
- 現場力のスキルアップ研修を実施
- 公開型の階層別研修で基礎力を底上げ

## 従業員エンゲージメントの向上

- 挑戦する人材を積極評価する人事制度へ順次刷新
- 従業員満足度アンケートを実施

## 柔軟な働き方

- テレワーク、フレックスタイム制（コアタイム無し）を拡充
- 業務のデジタル化を進め、場所や時間にとらわれない働き方を推進

## 健康経営の推進

- 産業医や保健師と連携し、疾病予防・生活習慣改善に向けた取組みを強化



2022  
健康経営優良法人  
Health and productivity



# Be the best **SPICE!**

～心躍る極上のスパイスになる～

キラリと光る唯一無二のスパイスで、  
世界を健やかで豊かなものに、毎日を心ときめくものにしたい。

もの創りの会社、新日本理化は、  
これからも広く社会の発展に貢献してまいります。

本日は、ご清聴いただきありがとうございました。

【お問い合わせ先】

新日本理化株式会社 経営企画部

<https://www.nj-chem.co.jp/>





# 新日本理化株式会社

---



Be the best **SPICE!**